中谷ミユキ《静物》1974年　油彩／キャンバス　個人蔵

一宮市三岸節子記念美術館　企画展

中谷ミユキ展 語り合う静物

いくつかの花と花、又いくつかの果物と果物が、互いに画面で語り合ってくれない時はひどく寂しい。

— 中谷ミユキ

2025
1|25 SAT ≫ 3|16 SUN

休館日	毎週月曜日（ただし、2月24日は開館）、2月12日(水)、2月25日(火)
開館時間	午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
観覧料	一般800円・高大生400円・中学生以下無料

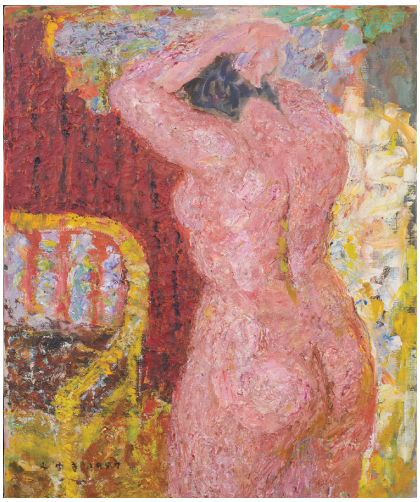
※ コレクション展（三岸節子常設展示室）観覧料を含む。20名以上の団体は2割引。
※ 一宮市在住の満65歳以上で住所・年齢の確認ができる公的機関発行の証明書等を提示された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方（ミライロID可、付添人1人を含む）は無料

主　催／一宮市三岸節子記念美術館・公益財団法人泉美術館・朝日新聞社

一宮市三岸節子記念美術館
〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
Tel:0586-63-2892　Fax:0586-63-2893

《静物》1930年、広島市立飯室小学校蔵

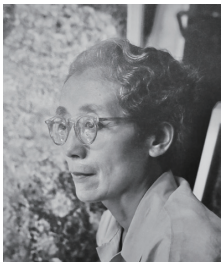
《勝利の少年兵》1944年、個人蔵



《裸婦》1957年、個人蔵

一宮市三岸節子記念美術館　企画展

中谷ミユキ展 語り合う静物



中谷ミユキ(1900-1977)は、三岸節子(1905-1999)と同時代に生きた、広島県出身の女性洋画家です。上京して共立女子専門学校を卒業後、病気をきっかけに30歳になってから洋画の道に進み、習い始めて数カ月で1930(昭和5)年の第11回帝展に《静物》を初出品、初入選を果たしました。以降、帝展・新文展・光風会展に出品を重ね、実力を認められていきます。戦時中の1943(昭和18)年には、長谷川春子(1895-1967)らとともに女流美術家奉公隊に加わり、大作の制作にも参加しました。戦後は1947(昭和22)年に三岸節子らとともに女流画家協会を創設し、後に節子が退会してからも中心的な存在として同会を牽引し続けました。また二紀会・十一会でも活躍し、きらめくような色彩の静物画を生み出していきました。

本展では、広島県内の複数の個人宅で保管されてきた初期から晩年までの静物画を中心に、稀少な戦中の作《勝利の少年兵》(1944年、個人蔵)等油彩画のほか、書簡や女流美術家奉公隊の資料等も展示します。戦前から戦後の揺れ動く時代を画家として生き、病を得ながらも絵筆を握り続け、静物画を描くことに情熱を燃やした中谷ミユキの没後初の本格的な回顧展です。

《花と果実》1969年、広島県立美術館蔵

※ 最新情報は当館SNS、ホームページをご確認ください。
※ 当館および一宮市が取材した記録映像・音声等は、加工せずそのままウェブサイトや広報紙に掲載することがあります。

関連イベント

担当学芸員によるギャラリートーク
2月9日(日)、3月15日(土)　各回14:00〜
参加費無料(要観覧券)、申込み不要(当日直接会場)

トークフリーデー「語り合う日」
2月22日(土)9:00〜17:00
「語り合う静物」に因み、小さなお子様連れの方や、お友だち同士で、この日1日は自由に感想を語り合いながら展覧会をお楽しみいただけます。
(静かに鑑賞されたい方は別日でのご来館をおすすめします)
参加費無料(要観覧券)、申込み不要(当日直接会場)

ワークショップ「油絵風な絵、かいてみよう!」
3月2日(日)　①10:00〜12:00　②14:00〜16:00
ミユキさんの油絵のような、立体感のある絵を描いてみましょう。

講　師：稲熊兼氏(ヴェロン會同人、こどもアトリエ主宰)
対　象：年少〜小学生(小学3年生以下は保護者同伴)
参加費：500円(材料費)　　**定員**：各回10名(抽選)
申込み：12月26日(木)9:00から2月18日(火)17:00までに右記二次元コードからオンライン申込み。またはハガキに住所・参加者名(ふりがな)・学年・保護者名・電話番号・希望回(①か②)を明記の上、郵送(2月18日必着)。

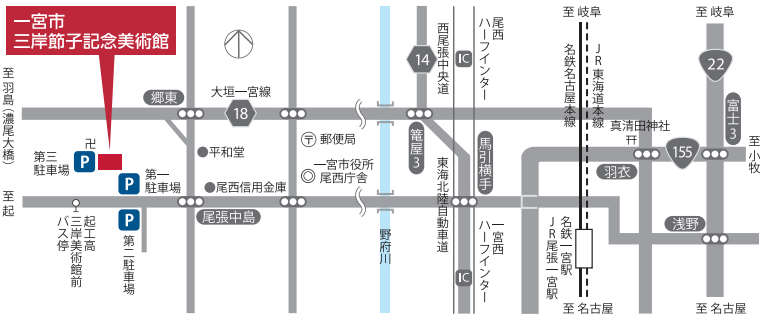
＼午前の部／

＼午後の部／

同時開催　三岸節子コレクション展(常設展)「静物の時代」

巡回予定　泉美術館(広島市西区商工センター2-3-1)
2025年5月31日(土)〜7月27日(日)

一宮市三岸節子記念美術館
〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
Tel:0586-63-2892　Fax:0586-63-2893
https://s-migishi.com/
@s.migishi.museum　@s.migishi.museum　@s_migishi_muse

交通案内／公共交通機関をご利用の場合　名古屋駅から電車とバスで約40分

- JR東海道本線(名古屋駅⑤⑥番)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR新快速・名鉄特急で10〜15分)、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分。[バスは1時間に約3本運行]
- 岐阜羽島駅(東海道新幹線)からタクシーで約20分